

柴田さん 楠川さん

優勝に「ほっ」

体操・成年男子



2015年 第67回 わかやま国体

紀の国わかやま国体の体操競技(12日)で、念願だった日本一の座をつかんだ成年男子チーム。田辺工業高校出身の柴田快輝さん(22)と楠川雄太さん(19)の活躍も大きな力になった。ともに今春から新しい環境の中、国体優勝に向け、努力を重ねていた。「ほっとしました」。最高の結果をつかんだ2人は、晴れやかな表情を浮かべた。

「始まるまではすごく緊張していたが、最初の種目(鉄棒)をミスなく終えることができて、リラックスできた」。柴田さんはそう振り返った。3種目だったあん馬の演技を終えた際は、観客に向けて「どっだ」と言わんばかりのポーズを取っておどけてみせた。田辺工業高校を卒業後、体操の名門として知られる順天堂大学に進学。日本代表として国際大会も経験した。社会人チームへ進むことも考えたが、今年4月に選んだ就職先は、地元の田辺市役所だった。国体の存在も大きかったから

だ。体操だけに打ち込むわけにはいかない日々だったが「自分が選んだ道は間違っていない」と笑顔を見せた。柴田さんの後を追うように今春、田辺工業高から順天堂大へ進んだのが楠川さん。チーム唯一の大学生だったが、ほとんどの種目でトップバッターを任された。

心掛けたのは「失敗せず、後ろにつなげる」。緊張していたが、春から高いレベルで体操を続けてきた自信があった。視野を広げられたという自負も持っていた。「いろんな人から『優勝す

るんやろ』と言われていたけれど、チームには偉大な先輩たちがいる」。自身が意識した通り、最後までミスのない演技を披露した。



華麗な演技を披露する柴田快輝さん(ともに和歌山市で)



チーム1番目で演技した楠川雄太さん